

MSES オリジナルライティング到達ステージ表(第4版)

ステージ	ナショナル・カリキュラム (DFE, 1999)	MSES オリジナル ステージ表 描写文	タスク(Task)	幅(Range)	正確性(Accuracy)
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒はなじみのある個々の単語を正確に書き写す。 生徒は項目に名称をつけ、適切な単語を選んで短い句や文を完成する。 	<p>生徒は、教科書などのモデルを例に書き写している。書き写しの綴りは正確である。</p>	<p>【分量】(問題にしない) 【内容】(問題にしない) 【構成】教科書などのモデルを例に書き写している。</p>	<p>【語彙】【文法】【文体】 (問題にしない)</p>	<p>【語彙】書き写しの綴りは正確である。 【文法】【書式】 (問題にしない)</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒はなじみのある短い句を正確に書き写す。 生徒は[たとえば簡単な標識や指示や、授業中に定期的に使われる決まり文句などの]項目を書いたり、ワープロで打ったりする。 生徒が記憶を頼りにしてなじみのある単語を書くときには、その綴りはおおよそ正確である。 	<p>生徒は、自分自身のことや身近な話題について数行で書く。その文章は、単文の羅列である。 限られた語彙を繰り返し使用している。 単語や決まり文句を別のものと対応させたり差し替えたりしている。 綴りはおおよそ正確であり、文法もおおよそ正確である。</p>	<p>【分量】数行。 【内容】自分自身のことや身近な話題について。 【構成】単文を羅列している。</p>	<p>【語彙】限られた語彙を繰り返し使用している。 【文法】単語や決まり文句を別のものと適応させたり、差し替えたりしている。 【文体】 (問題にしない)</p>	<p>【語彙】綴りはおおよそ正確である。 【文法】おおよそ正確である。 【書式】 (問題にしない)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は[例えば教科書や壁掛け図や自分が書いた作品の]補助を使いながら、なじみのある話題について2文ないし3文の短い文を書く。 生徒は[例えば好き嫌いや感情などの]個人的な応答を表現する。 生徒は記憶を頼りにして短い句を書き、その綴りは容易に理解される。 	<p>生徒は、自分自身のこと、身近な話題について、数行で書く。 単文を羅列しているが、意味のつながりがある。 限られた語彙を選択して使用しており、単語や決まり文句を別のものと適応させたり差し替えたりしている。 綴りはおおよそ正確であり、文法もおおよそ正確である。</p>	<p>【分量】数行。 【内容】自分自身のことや身近な話題について。 【構成】単文を羅列しているが、意味のつながりがある。</p>	<p>【語彙】限られた語彙を、選択して使用している。 【文法】単語や決まり文句を別のものと適応させたり、差し替えたりし始める。 【文体】 (問題にしない)</p>	<p>【語彙】綴りはおおよそ正確である。 【文法】おおよそ正確である。 【書式】 (問題にしない)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は主に記憶している言葉を頼りに、3つないし4つの単純な文から成る個々のパラグラフを書く。 生徒は文法知識を用いて単語や決まり文句を別のものと適応させたり、差し替えたりし始めている。 生徒は学習済みの単語の確認に辞書や語彙集を使い始めている。 	<p>生徒は、自分自身のこと、身近な話題、見たり聞いたりしたことについて、単純な文からなる複数のパラグラフがある文章を書く。その文章は形式的にパラグラフ分けがしてある。 限られた語彙を選択して使用し、複数の時制を使用している。等位接続詞を使用し単文をつなげている。文法は誤りがあり、書式はタスクに対して適切である。</p>	<p>【分量】単純な文からなる複数のパラグラフがある。 【内容】自分自身のこと、身近な話題、見たり聞いたりしたことについて。 【構成】形式的にパラグラフわけをしている。</p>	<p>【語彙】辞書を使い、語彙を選択している。 【文法】複数の時制を使用している。等位接続詞を使用して、単文をつなげている 【文体】 (問題にしない)</p>	<p>【語彙】語彙と綴りの誤りがある。 【文法】誤りがある。 【書式】タスクに対して適切である。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は情報や意見を求めたり伝えたりする短い文章を、単文を使って書く。 そこでは生徒は毎日の活動に加えて、最近の体験または未来の計画に言及する。 いくらかの間違ひがあるものの、意味はほとんど困難なく理解される。 生徒は学習済みの単語を確認し、知らない単語を調べるために辞書や語彙集を使う。 	<p>生徒は、自分自身のこと、身近な話題、見たり聞いたりしたことについて、単純な文からなる複数のパラグラフがある文章を書く。段落間に意味のつながりがあり、ほとんど困難なく理解される。 語彙はまれに同じ言葉を言い換えており、文法では複数の時制を使用し、複文を使用している。 語彙と綴りの誤りがあり、文法には誤りがある。タスクに対して適切な書式である。</p>	<p>【分量】複数の単純な文からなる複数のパラグラフがある。 【内容】自分自身のこと、身近な話題、見たり聞いたりしたこと。 【構成】パラグラフ間に意味のつながりがあり、ほとんど困難なく理解される。</p>	<p>【語彙】まれに同じ言葉を言い換えている。 【文法】複数の時制を使用している。複文を使用している。 【文体】 (問題にしない)</p>	<p>【語彙】語彙の選択と綴りの誤りがいくらかある。 【文法】誤りがある。 【書式】タスクに対して適切である。</p>

6	<p>・生徒は単純で叙述的な言葉を用いて、過去や現在や未来の行為や出来事に言及して、複数のパラグラフで書く。</p> <p>・生徒は新しい場面に文法を適用する。</p> <p>・生徒の書いたものには間違いが少しあるが、大体において意味は明瞭である。</p>	<p>生徒は、身近な事柄を含む幅広い話題について、複数のパラグラフがある文章を書く。タスクに適した構成で書かれており、大体意味が分かる。</p> <p>語彙は、ときおり同じ言葉を言い換えており、さまざまな修飾表現を使用している。</p> <p>語彙と綴りの誤りがいくらかあり、文法でもいくらか誤りがある。</p> <p>タスクに対して適切な書式である。</p>	<p>【分量】複数のパラグラフがある。</p> <p>【内容】身近な事柄を含む幅広い一連の話題について。</p> <p>【構成】タスクに適した流れで書いている。大体意味がわかる。</p>	<p>【語彙】ときおり同じ言葉を言い換えている。</p> <p>【文法】様々な修飾表現を使用している。</p> <p>【文体】(問題にしない)</p>	<p>【語彙】語彙と綴りの誤りがいくらかある。</p> <p>【文法】誤りがいくらかある。</p> <p>【書式】タスクに対して適切である。</p>
7	<p>・生徒は適切なレジスターを用いて、現実あるいは想像上のテーマについていろいろな長さのものを書く。</p> <p>・生徒はそれぞれの目的のために、文やパラグラフを連結し、考えを構造化し、既習の言葉を適応させる。</p> <p>・生徒はより正確で明確で豊かな表現となるように、参考資料を用いて自分の作品を編集し、書き直す。</p> <p>・生徒の書いた物には時おり間違いがあるが、意味は明瞭である。</p>	<p>生徒は、身近な事柄を含む幅広い話題について、複数のパラグラフからなる文章を書く。タスクに適した構成で書いており、大体意味が分かる。</p> <p>語彙は、同じ言葉を言い換えており、文脈に合わせて文法事項を使用している。</p> <p>語彙と綴りの誤りが少なく、文法は誤りが少ない。</p> <p>タスクに対して適切な書式である。</p>	<p>【分量】複数のパラグラフがある。</p> <p>【内容】身近な事柄を含む幅広い話題について。</p> <p>【構成】タスクに適した構成で書いている。意味は明瞭である。</p>	<p>【語彙】同じ言葉を言い換えている。</p> <p>【文法】文脈に合わせて文法事項を使用している。</p> <p>【文体】(問題にしない)</p>	<p>【語彙】語彙と綴りの誤りが少ない。</p> <p>【文法】誤りが少ない。</p> <p>【書式】タスクに対して適切である。</p>
8	<p>・生徒は考えや意見や自分の見解を表したり、正当化したり、他人の見解を求めたりする。</p> <p>・生徒は読んだり、見たり、聞いたりしたものの内容を発展させる。</p> <p>・生徒のつづりと文法は全体的に正確で、その文体は内容に対して適切である。</p> <p>・生徒は言葉の幅を広げ、正確さを向上するために参考資料を用いる。</p>	<p>生徒は、身近な事柄を含む幅広い話題について、複数のパラグラフからなる文章を書く。タスクに適した構成で書いており、意味は明瞭である。</p> <p>語彙は、変化に富んでおり、文脈に合わせて文法事項を使用し、文体はタスクに対して適切である。</p> <p>語彙の選択は適切であり、綴りの誤りが少ない。文法の誤りが少ない。</p> <p>タスクに対して適切な書式・文体である。</p>	<p>【分量】複数のパラグラフがある。</p> <p>【内容】身近な事柄を含む幅広い話題について。</p> <p>【構成】タスクに適した構成で書いている。意味は明瞭である。</p>	<p>【語彙】変化に富んだ語彙を使用している。</p> <p>【文法】文脈に合わせて文法事項を使用している。</p> <p>【文体】タスクに対して適切である。</p>	<p>【語彙】語彙の選択は適切である。綴りの誤りが少ない。</p> <p>【文法】誤りが少ない。</p> <p>【書式】タスクに対して適切である。</p>
例外的到達度	<p>(例外的な到達度)</p> <p>・生徒は幅広い一連の事実または想像上の話題について、首尾一貫して正確に書く。</p> <p>生徒は特定のタスクのために適切な書式を選び、文体や書く領域を換えるために資料を適切に使う。</p>	<p>生徒は、事実または想像上の幅広い一連の話題について、複数のパラグラフからなる文章を書く。タスクに適した構成で書いている。意味は明瞭である。</p> <p>変化に富んだ語彙を使用し、適切な語彙を使用している。豊かな表現となるよう参考書等の資料を適切に活用している。</p> <p>語彙の選択と綴りがほぼ正確であり、文法もほぼ正確である。タスクに対して適切な書式・文体である。</p>	<p>【分量】複数のパラグラフがある。</p> <p>【内容】事実または想像上の幅広い一連の話題について。</p> <p>【構成】タスクに適した構成で書いている。意味は明瞭である。</p>	<p>【語彙】変化に富み、適切な語彙を使用している。</p> <p>【文法】豊かな表現となるよう参考書等の資料を適切に活用している。</p> <p>【文体】タスクに対して適切である。</p>	<p>【語彙】語彙の選択と綴りがほぼ正確である。</p> <p>【文法】ほぼ正確である。</p> <p>【書式】タスクに対して適切である。</p>

注) *【書式】では、タスクの形式に従っているかどうかということの評価する。例えば手紙を書くというタスクの場合には、最初に相手の名前を書き、最後に自分の名前を書くといった手紙の形式に従っているかどうか、エッセイを書くというタスクでは、パラグラフの最初の行は改行しているかなどが評価の対象となる。

*【文体】では、フォーマル・インフォーマルな表現の使い分けなどが評価の対象になる。

*「(問題にしない)」とは、評価の対象にしないということである。

各学年の達成ステージ

各学年の達成ステージとは、学年の100%の生徒の到達を望むステージである。以下を各学年の目標ステージとする。

中等教育学校1年—ステージ2

中等教育学校2年—ステージ3

中等教育学校3年—ステージ4

中等教育学校4年—ステージ5

中等教育学校5年—ステージ6

中等教育学校6年—ステージ7

ステージ8、例外的到達度

ステージの判定方法

ステージ判定の条件は、タスク・幅・正確性すべての描写文を満たすことである。よって、総合判定は、タスク・幅・正確性のステージのうち、一番下のステージとする。例えば、ある生徒がステージ4のすべての描写文を満たした時に、その生徒は「ステージ4」であると判定される。タスク・幅はステージ4の描写文を満たしているが、正確性はステージ3であると判断された生徒の判定は、「ステージ3」となる。

生徒には、タスク・幅・正確性・到達ステージのそれぞれの評価結果をステージで示す。

また、生徒の作品を評価する際には、JTE や ALT の支援が加えられた作品と、生徒の力のみで書かれた作品とを区別して評価する。

学年末の総括的評価では、たとえば、生徒が支援を得て書いた作品を考慮しつつ、生徒の力のみで書かれた作品を中心に評価し、ステージを判定する。その際、生徒のひとつの作品を基に評価するのではなく、いくつかの生徒の作品を基準にして、生徒の平均した到達度についてステージの判定をすることを検討している。